

ぬけがら検索図①

[北海道～九州のセミ]

北海道から九州(屋久島・トカラ列島まで)を調査した方は検索図を使ってください。
ぬけがらの大きさはほぼ実物大です。注意書き(*)にも気をつけてください。

セミのぬけがらの見分け方

日本に分布するセミは、そのぬけがらでも種を見分けることができます。以下のポイントを注意深く観察してみましょう。観察にはルーペ(虫めがね)を使うと便利です。(ルーペは文具店などで容易に入手できます)

大きさに注意しよう
全体の色と光沢を見よう
触角の各節の長さや太さをくらべよう(触角はつけ根から順に第1節、第2節……と数えます)
前足の腿節(太い部分)の歯を観察しよう
腹部の先端を腹側と横側からくわしく観察しよう

スタート
右のぬけがらよりも大きいですか?

全体に淡い黄褐色ですか?

YES → クマゼミ(平地)
Cryptotympana facialis

光沢が少なく、ぬけがらの一部が黒ずむ

体長が3cm以上ありますか?

NO → コエゾゼミ(山地)*1
Tibicen bihamatus

*1: コエゾゼミ
九州・四国・中国地方の山地にはキュウシュウエゾゼミも分布しています。コエゾゼミのぬけがらにくらべて、光沢が強いことで区別できます。屋久島には唯一のエゾゼミ類としてヤクシマエゾゼミが分布しています。

全体に赤褐色で不透明

腹部の先端付近は濃い赤褐色ですか?

YES → エゾゼミ(山地)
Tibicen japonicus

YES

NO

NO

YES

YES

前足の腿節の前歯と中歯は離れていますか?

YES

NO

触角は毛が多く、第3節は第2節よりも長いですか?

YES → アブラゼミ
Graptopsaltria nigrofuscata

NO

触角の第3節は第4節よりも長いですか?

YES → ミンミンゼミ
Oncotympana maculaticollis

全体に黄褐色でやや透明、腹部先端付近は黄褐色

腹部の先端付近は濃い赤褐色ですか?

NO → アカエゾゼミ(山地)
Tibicen flammatus

NO

YES

YES

NO

NO

NO

触角の第3節は第4節よりも長いですか?

YES → 光沢がありますか?

NO → 前足の腿節のふくらみが強いですか?

NO

触角の第4節は第3節の2倍よりも長いですか?

YES → 触角の第4節は第3節の何倍の長さがありますか?

2.5倍程度

エゾハルゼミ(山地)
Terpnosia nigricosta

3倍程度、第5節から急に細くなる

ヒメハルゼミ(平地～丘陵地のカシの多い林)
Euterpnosia chibensis

光沢がありますか?

YES → チッチゼミ*3
Cicadetta radiator

*3: チッチゼミ
道南をのぞく北海道に分布しているのはエゾチッチゼミです。

NO

前足の腿節のふくらみが強いですか?

YES → クロイワツクツク(南九州など)
Meimuna kuroiwaie

4倍程度

ハルゼミ(平地～丘陵地の松林)
Terpnosia vacua

NO

NO

体が丸っこくて全体に泥がついていますか?

YES → ニイニイゼミ*2
Platypleura kaempferi

*2: ニイニイゼミ
対馬にはチョウセンケナガイニイが分布していますが、発生期は秋の終わりです。

小さくて足が短い

チッチゼミ*3
Cicadetta radiator

YES

NO

ふくらみが強い

上から見たところ

クロイワツクツク(南九州など)
Meimuna kuroiwaie

YES

NO

NO